

## 「退職金制度の診断」承ります

退職金制度の問題として退職金の積立方法と計算方法の2つがあります。「どの積立制度にすればいいのか判断できない」、「コスト上昇、高額な給付額の支給についての解決方法がわからない」といった点についてお悩みの企業様も多いのではないのでしょうか。そこで経験豊かなコンサルタントが、「退職金診断」を基に貴社の退職金制度の実態をさまざまな角度から分析し、問題点を抽出するとともに、改善に向けた提言をいたします。

★現在このような悩みはございませんか？

- ・退職金の準備が予定どおり進んでいない。
- ・退職金の支給を継続することに対して危機感がある。
- ・財務的な裏付けを再検討する必要がある。



原因は、貴社の退職金制度にあるかもしれません。

一度、貴社の制度について診断を受けられることをお勧めします。

★本サービスの特徴

- ・問題点を抽出するとともに、改善の方向性をご提案します。
- ・制度改善について社内でご検討いただく際の基礎資料としてご利用いただけます。

※詳細は、次頁の「診断内容の概要」をご覧ください



# I. 診断内容の概要（退職金診断報告書の構成）

## i) 現状の分析資料

### 1. 退職金シミュレーションによる分析

～貴社の社員の退職金額を一覧化し、問題点を考えます～

社員一人ひとりの退職金額を一覧化すると、多くの問題点が見えてきます。

特に、①外部積立の不足額②予想退職金額③定年までの要準備額など様々な角度から、分析し、問題点を示します。

従業員数 = 45		計算基準日における										定年時における							
		93,191,239		93,191,239		11,353,277		40,052,434		0		-93,191,239		-93,191,239		380,707,492		-380,707,492	
NO.	氏名	性別	年齢			会社都合退職金	自己都合退職金	外部積立1 適格退職	外部積立2 中途共	外部積立 合計	Aに対する 不足額	Bに対する 不足額	実績額 年1月	予想退職金 D	定年までの 要準備額	定年 年1月			
			年	月	日														
		男	58	10	37	11	10,682,813	10,682,813	1,618,655	4,287,073			39	1	11,214,709	19	8		
		男	58	4	15	4	3,011,603	3,011,603	412,100	1,600,778			17	0	3,547,823	20	1		
		男	57	9	9	2	1,104,359	1,104,359	149,640	604,359			11	5	1,604,692	20	8		
		男	57	8	18	6	4,054,944	4,054,944	485,321	2,079,789			20	10	4,811,922	20	9		
		男	57	8	42	2	11,072,363	11,072,363	1,542,398	4,112,293			44	6	11,296,363	20	9		
		男	57	4	12	2	1,807,012	1,807,012	242,625	887,012			14	10	2,454,700	21	1		
		男	56	10	21	10	5,430,099	5,430,099	626,625	2,890,614			25	0	6,674,649	21	7		
		男	55	2	12	9	2,101,317	2,101,317	256,363	1,181,317			17	7	3,542,093	23	3		
		男	54	4	20	2	4,401,752	4,401,752	561,247	2,050,377			25	10	6,231,170	24	1		
		男	52	2	33	6	8,459,906	8,459,906	1,004,625	3,004,716			41	4	10,716,786	26	3		
		男	50	5	5	11	587,636	587,636	92,256	447,636			15	6	2,872,516	27	12		

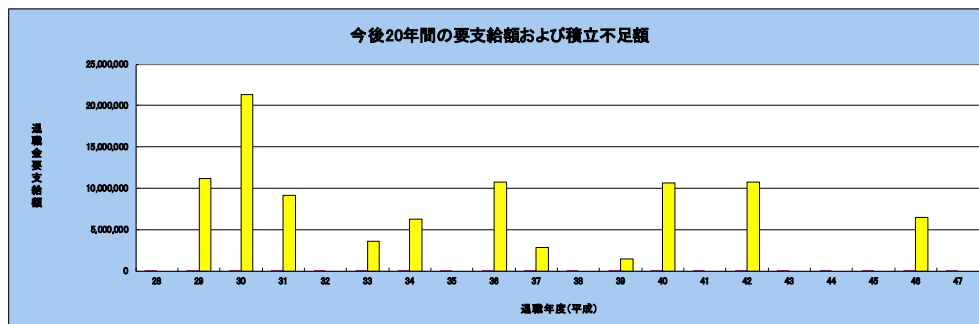
### 2. 年度ごとの退職金支給予想額からの分析

～貴社の年度ごとの支給額からの問題点をみつけます～

退職金制度の問題点は、年度ごとの退職金総額から読み取ることができます。また、将来発生する年度ごとの退職金額を予測することができるため、将来を見据えた積立方法を検討することができます。

#### ◆今後予定される退職金支給額

貴社の今後20年間の退職金支給予想額は以下のとおりです。



年(平成)	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
退職者数	0	1	4	2	0	1	1	0	1	1
要支給額	0	11,214,709	21,260,801	9,129,349	0	3,542,093	6,231,170	0	10,716,786	2,872,516

年(平成)	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
退職者数	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
要支給額	0	1,480,000	10,681,050	0	10,706,035	0	0	0	6,435,581	0

＝退職金の支払額が1,000万円を超える年

### 3. 退職金額、積立不足総額の分析

～貴社の退職債務の総額から分析します～

自社の退職金債務が、現在どの程度あるのか客観的に把握していただき、具体的な取り組むべき課題をわかりやすく解説いたします。

<数値分析1>～退職金金額～

1. 現在の従業員が、全員、定年退職を迎えると仮定した場合の退職金予定総額

人数	金額
45名	360,707,492円

2. 今後10年間に支払う退職金予定総額（平成28～38年）

人数	金額
11名	64,967,423円

※現在50歳以上の従業員(対象者は次頁参照)

3. 今後15年間に支払う退職金予定総額（平成28～43年）

人数	金額
14名	87,834,508円

※現在45歳以上の従業員

4. 単年度での退職金予定最高額(平成70年)

人数	金額
5名	41,374,357円

5. 基準日(平成28年5月31日)における会社都合退職金額

人数	金額
38名	93,191,239円

6. 基準日(平成28年5月31日)における自己都合退職金額

人数	金額
38名	93,191,239円

<数値分析2>～積立不足額～

1. 基準日(平成28年5月31日)における退職金制度上の積立不足額

人数	金額
38名	93,191,239円

※会社都合退職の場合

2. 今後、現在の従業員が、全員、定年退職を迎えるまでに積み立てるべき金額

人数	金額
45名	360,707,492円

#### ii) 改善のお勧め

上記の診断内容をもとに、改善に向けたアドバイスをさせていただきます。  
貴社での制度改善の検討材料としてご利用下さい。

<ご注意>

- ・本サービスは、あくまで、退職金制度の現状の問題点と改善の方向性をアドバイスするものであり、制度設計は含まれていません。
- ・規程の整備状況によっては、診断ができない項目もございます。

## Ⅱ. サービスの流れ

- ①ご訪問して社員データ、就業規則等（就業規則・退職金規程・退職年金規程）、社外積立に関する資料をお預かりします。  
（社員のデータは、原則、電子データでご準備をお願いします。  
事前に弊社から「入力フォーム」をお渡しします。）



- ②お預かりした資料をもとに、診断報告書を作成しご訪問します。

※所要期間の目安：1ヶ月

## Ⅲ. 費用のご負担

特別会員 30,000 円（税別）

一般会員 50,000 円（税別）

非会員 100,000 円（税別）

※一般会員・非会員様は、別途交通費をご負担下さい。

お問い合わせ・ご相談は、下記までお気軽にお寄せください。

株式会社 百五総合研究所 経営コンサルティング部

TEL : (059) 228-9105

FAX : (059) 228-9380

E-mail : info@hri105.co.jp.

H28.7.1 現在